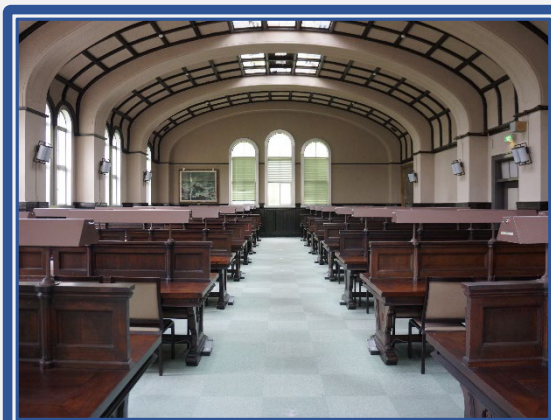
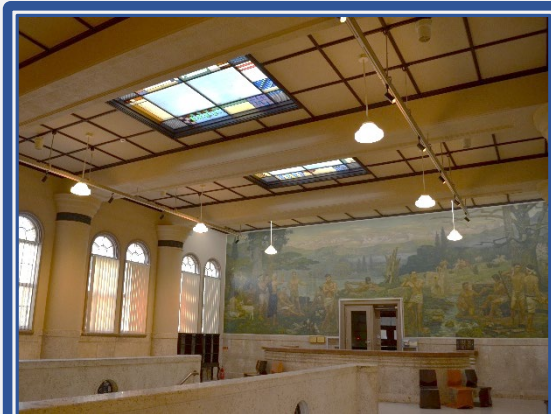


神戸大学附属図書館要覧



2025



Kobe University Library

CONTENTS

附属図書館情報戦略	1
附属図書館組織 / 事務組織	2
デジタルアーカイブの構築・提供	3
特色ある蔵書・コレクション	4
図書館の活動	5
各図書館室 / 関連施設概要	9
歴代館長	13
現況統計・諸統計の年次推移	14
附属図書館の歩み	15
各図書館室沿革	16
ACCESS / CONTACT	17



附属図書館情報戦略～たゆまざる情報の収集・発信と利活用促進～

教育支援

教養・専門教育を支え新たな価値創造環境を強化する

■学修資料の整備

- ・教科書・シラバス掲載資料など、教養教育・専門教育を支える基本的な資料を整備する
- ・百科辞書・専門分野の事典などを整備する
- ・電子ブック・新聞データベース・電子教材などを整備する

■情報の活用支援

- ・「情報」の探し方等に関する基本的な情報リテラシーの習得を支援する
- ・文献管理ソフトウェアなど情報活用ツールの利用を支援する
- ・学生の能動的学修を誘発する広範な支援を行う

社会貢献

大学や地域の記録を保存するとともに電子化・公開を進める

■デジタル・アーカイブの構築を通して

- デジタル・ヒューマニティーズの基盤を形成
- ・図書館が所蔵する貴重書など様々な資料の電子化・公開を進める(震災文庫、新聞記事文庫、神戸開港関係資料ほか)
- ・関係部局等と連携して大学や地域の記録を収集・保存し、電子化・公開を進める

■神戸大学の歴史を伝える

- ・大学文書史料室を中心に神戸大学の歴史に関する資料(歴史公文書等)を収集・保存するとともに一般の利用のため調査業務や展示・公開を行う
- ・神戸大学120年史編集刊行事業を推進する

■研究資料の整備

- ・研究に不可欠な電子ジャーナルやデータベースなどの購読を維持する
- ・費用対効果に留意し、大学が必要とする資料を戦略的に整備する

■学術成果のオープンアクセスの推進

- ・神戸大学の教育研究成果(学術論文・博士学位論文・紀要論文・教材・研究データなど)を集中的に整備し、DOIを付与して学術成果リポジトリにより公開することで他機関等からの可視性、利便性を向上させる
- ・様々な方法での学術成果のオープンアクセスへの支援を行う

■学修環境の整備

- ・多様なアイデアを引き出し主体的な学修活動を促進するため「ラーニングコモンズ」を整備する
- ・個人学習のための「自習室」を整備する
- ・資料を用いて学習・調査するための「閲覧室」を整備する

■資料を活用した知の交流

- ・独自性のある資料や教科書にでてくるような著名な図書を活用した展示・解説をおこなうなど知の交流事業を実施する

研究支援

研究のインフラを維持するとともに神戸大学の教育研究成果を公開することで可視性を向上させる

知の広場

神戸大学全構成員の情報インフラとして現実空間・仮想空間双方に知の交流のための広場を展開する

知的刺激と交流をひろげる附属図書館

課題と現状

DX進展への対応

■デジタルアーカイブの構築・学術成果のオープンアクセスの推進

■情報リテラシー教育の推進

- ・図書の探し方、情報の探し方、データベースの検索方法などの講習会を実施

■ラーニングコモンズの整備

- ・人文科学図書館(2013)、社会科学系図書館(2014)、総合・国際文化学図書館(2015)、保健科学図書室(2021)、自然科学系図書館(2023)

■図書館室の協同によるスペースの有効活用

展望

2025 から 2030へ

- ・資料電子化に要する経費の確保をはかるとともに大学・地域の記録・記憶である資料や貴重資料等の電子化・公開を行うとともに、リポジトリや様々な方法での学術成果の公開を進める

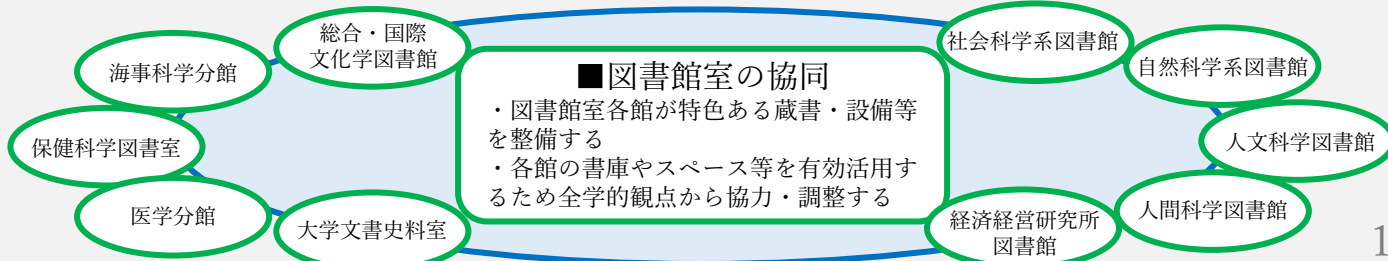
- ・YouTubeやZoom等を活用し、情報の取扱いに関するセミナー等の内容を充実させる

- ・多様な人との交流・美論・協同・創造的学習のための空間であるラーニングコモンズを海事科学分館・医学分館にも設置し、イノベーションをうみだす価値創造空間としての活用を促進する

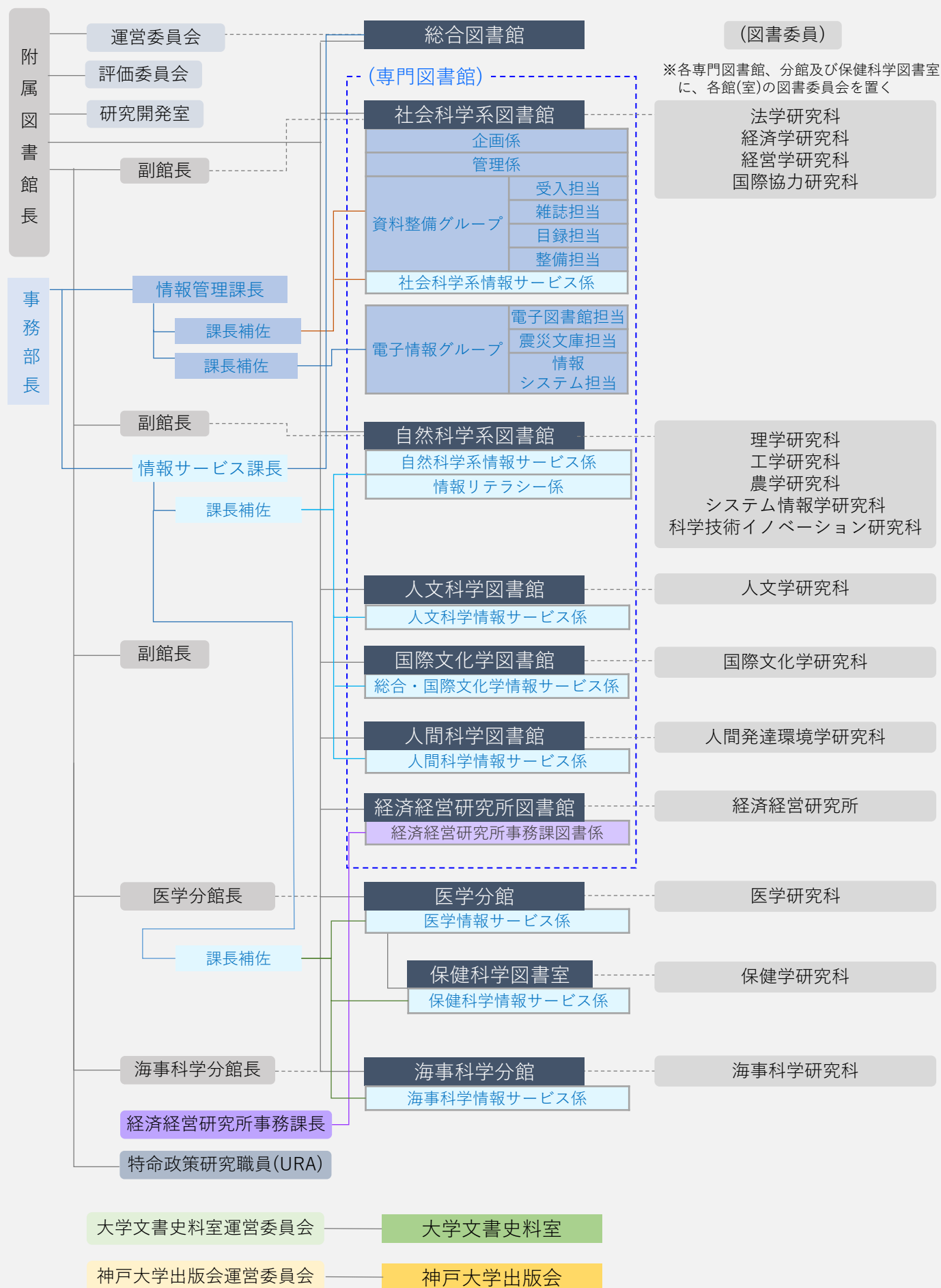
- ・全学の図書館室が協力し、各館の特色を活かしつつ、全学的観点からスペースの有効活用を図る

■図書館室の協同

- ・図書館室各館が特色ある蔵書・設備等を整備する
- ・各館の書庫やスペース等を有効活用するため全学的観点から協力・調整する



附属図書館組織/事務組織



(令和7年6月現在)

デジタルアーカイブの構築・提供

神戸大学附属図書館では所蔵貴重資料などの学術資産や教育・研究成果を「デジタルアーカイブ」として広く世界に発信し、社会に対する本学の知的資源のポータル(窓口)機能を果たすことを目指している。平成31(2019)年1月からはコンテンツの一部について二次利用申請手続きを不要とし、令和4(2022)年8月からはIIFでの画像表示に対応するなど利用の促進を図っている。

「新聞記事文庫」「震災文庫」「貴重書・特殊コレクション」については、令和5(2023)年度から日本学術振興会の「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」の委託を受けている。

神戸大学学術成果リポジトリKernel

<https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/kernel/>



平成18(2006)年10月より「神戸大学学術成果リポジトリ(機関リポジトリ)Kernel」の公開を開始した。学術雑誌掲載論文、紀要論文、博士学位論文、図書、学術報告書、教材、データセットなどあらゆる種類の学術成果が収録対象である。この他、学内刊行物の目次データベースとしての役割も果たしている。平成29(2017)年1月に「神戸大学オープンアクセス方針」を採択し、オープンアクセスのさらなる促進を目指している。

令和7(2025)年3月末現在の公開件数は41,274件である。

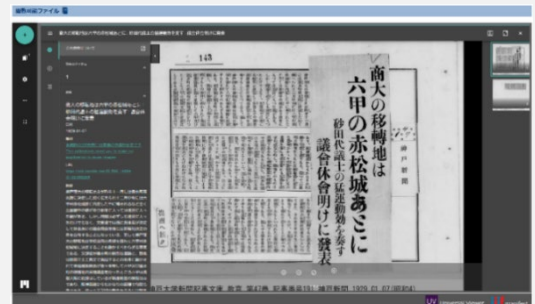
新聞記事文庫

<https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/np/>



明治末～戦前期の新聞切抜資料「新聞記事文庫」(経済経営研究所所蔵)の全文・画像のデジタル化を継続的に進め、昭和20(1945)年までの記事約33万件を公開済みである。

本事業は平成16年度以降13回にわたり「科学研究費補助金研究成果公開促進費(データベース名:戦前期新聞経済記事文庫データベース)」の助成を受けた。



新聞記事文庫(表示画面例)

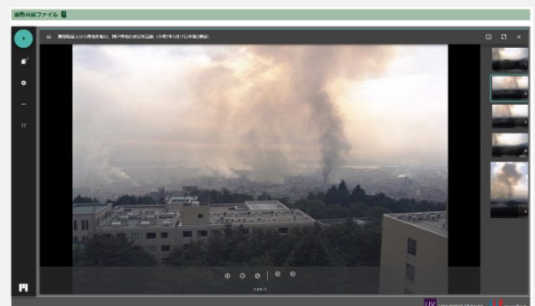
震災文庫

<https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/eqb/>



平成7(1995)年に発生した阪神・淡路大震災に関する資料を収集する「震災文庫」の所蔵資料について、詳細なメタデータの提供に加え、著作権者の許諾が得られた一次情報のデジタル公開を行っている。公開している一次情報は、図書、写真、一枚もののほか、動画・音声・広報類・データファイルなど多岐にわたっている。

さらに国立国会図書館の「東日本大震災アーカイブ(愛称: ひなぎく)」に参加し、横断検索が可能となっている。令和3(2021)年からは株式会社サンテレビジョンと提携し、震災当日以降の取材映像を順次公開している。



震災文庫(表示画面例)

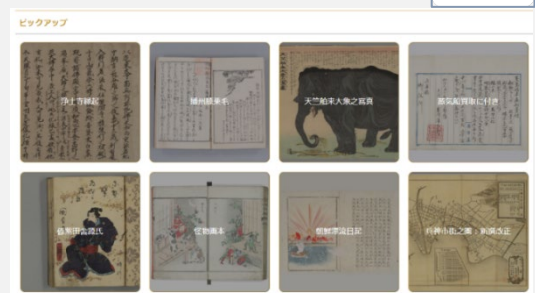
貴重書・特殊コレクション

<https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/sc/>



各種貴重書・特殊コレクションについてもデジタル化を進め、『住田文庫』『浄土寺縁起』をはじめとして、郷土資料や古典籍などを幅広く公開している。

国文学研究資料館の事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(平成26(2014)年度～令和5(2023)年度)にも拠点大学として参画した。また、『神戸開港文書』は、アジア歴史資料センターデータベースでの検索が平成30(2018)年4月から可能となった。



貴重書・特殊コレクション(表示画面例)

特色ある蔵書・コレクション

タイトル	内容	冊数	所蔵館
播州関係郷土史料 広峯神社古文書 浄土寺縁起 播州膝栗毛	播磨各地の郷土史料を主とする史料。代表的なものは以下の3種である。 姫路の広峯神社に伝わった古文書19点、鎌倉期のものを含む。【デジタルアーカイブで公開】 小野市浄土寺に関わる慶長年間の写本。原本を正確に伝える。【デジタルアーカイブで公開】 十返舎一九作の江戸後期の刊本。	509種	総合・国際文化学図書館
新島文庫	新島繁(野上蔵)氏旧蔵の人文社会科学諸資料のコレクション	3,047点	総合・国際文化学図書館
原文庫	原弘毅氏旧蔵のドイツ文学・語学・芸術書のコレクション	1,411点	総合・国際文化学図書館
二宮文庫	二宮尊道氏旧蔵のD.H.ロレンスとT.S.エリオットを中心とする英文学書のコレクション	322点	総合・国際文化学図書館
百瀬文庫	百瀬弘氏旧蔵の漢籍を主とする中国史書のコレクション	449点	総合・国際文化学図書館
住田文庫	住田正一氏より寄贈された、海事海運関係資料を中心とした和漢古典籍・古文書等のコレクション	約6,500点	社会科学系図書館
村上文庫	摂津国八郡郡花熊村村上文庫	5,742点	社会科学系図書館
神戸開港文庫	土地・海運関係や居留地の生活・行政関係	1,297点	社会科学系図書館
スムマ	ルカ・パチョーリ著。算術・幾何・比および比例全書複式簿記に関して世界で最初に出版された図書といわれる。1494年ベネチア刊の初版本を所蔵。		社会科学系図書館
カメラール文献	戸田博之氏旧蔵の18世紀ウィーン近郊で実際に使用されていたカメラール簿記関連文献	17点	社会科学系図書館
開城簿記帳簿	平井泰太郎氏旧蔵の18世紀に朝鮮半島で実際に使用されていた簿記帳簿	13点	社会科学系図書館
Brucker, Johann Jacob. Historia criticaphilosophiae	1767年出版の第2版全6巻を所蔵。初版は1742~44年であるが、第2版で詳しい補注が付されている。	全6巻	人文科学図書館
小林文庫	小林太市郎氏旧蔵の芸術・哲学・文学関係の和漢洋書	5,390点	人文科学図書館
井上文庫	井上庄七氏旧蔵の西洋近世哲学関係洋書	875点	人文科学図書館
雪山文庫	雪山俊夫氏旧蔵のドイツ学関係洋書	2,861点	人文科学図書館
市川文庫	市川承八郎氏旧蔵の西洋史学関係の洋図書	1,019点	人文科学図書館
播陽萬寶智恵袋	天川友親編、宝暦10(1769)年。播磨の地誌典籍125編を編集したもので、自筆原本を所蔵している。		人間科学図書館
郷土研究資料	兵庫県歴史、地誌、教育に関する資料を所蔵している。	約7,000冊	人間科学図書館
教科書	明治期の教科書から現行のものまで多数所蔵している。		人間科学図書館
新聞記事文庫	明治45年から昭和45年にかけて収集した切抜帳約3,200冊、記事数約50万件の新聞記事切抜資料で、多種の新聞からの記事を研究者の目で分類しており、特に戦前のものは他に例のない貴重なものである。現在デジタル公開を進めている。		経済経営研究所図書館
中南米文庫	福原八郎・野田良治両氏の寄贈図書を基礎に昭和13年1月に開設された南米文庫を引き継いでいる。オセアニア文庫とともに地域研究資料として高く評価されている。	11,782点	経済経営研究所図書館
オセアニア文庫	昭和52年12月、オーストラリア政府寄贈図書を基礎に設置された。その後、オーストラリア、ニュージーランド経済・産業に関する資料を加えた地域研究資料となっている。	3,483点	経済経営研究所図書館
海図・水路誌	国内・海外の海図や水路誌のコレクション	約7,000枚	海事科学分館
渋谷文庫	旧日本海軍造船機技術資料	約4,400点	海事科学分館
市村文庫	海商法関係資料		海事科学分館
泉江三文庫	艦船関係資料	1,023点	海事科学分館



天竺舶来大象之寫真（住田文庫）

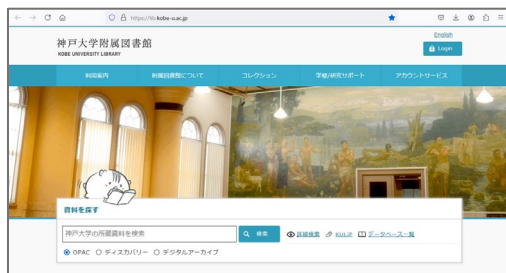


朝鮮漂流日記（住田文庫）

図書館の活動

アウトリーチ活動

Webサイトの運用と活用



附属図書館公式ウェブサイト
<https://lib.kobe-u.ac.jp/>



全9館室の開館時間や重要なお知らせ、ピックアップ記事など、附属図書館に関する情報をいち早く掲載。

SNS活用による情報発信



公式X(旧Twitter)では、開館情報からイベント情報まで幅広くフットワークの軽い発信を、また公式YouTubeチャンネルではセルフラーニング教材のほか震災文庫の紹介や館内案内の動画など多くのコンテンツを提供している。

公式キャラクター「うりこ」の活用



うりこ

うりこLINEスタンプ

Vol.1



Vol.2



附属図書館の公式キャラクターとして各広報媒体や利用者教育の場で活用。

大学図書館としては全国初の試みであったLINEスタンプは第2弾までリリース、オリジナル4コマ漫画『うりコミ』他、学内で絶大な人気を誇る。

モバイル対応



「スマホ入館」などモバイル利用者をターゲットにしたICTサービスを拡充中。

学生協働：神戸大学附属図書館学生チーム ULiCS(うりくす)

「学生協働」を目的に平成27(2015)年10月発足。"University Library Connects Students ~人と人との出会いを図書館から~"をモットーに、学生目線での図書館活動を行う。

定期ミーティングのほか、団体誌『ULiCS Times』の編集、読書会やビブリオバトルなどの企画・運営、おすすめ本の選書・展示「ULiCS文庫」、学生協働イベントへの参加、図書館利用促進のためのグッズ考案など活発に活動している。



ウェブサイト「附属図書館学生チーム ULiCSについて」



「ULiCS」公式X(旧Twitter)



原案を共同考案した「うりこLINEスタンプ」



団体誌『ULiCS Times』

様々な図書館サービス

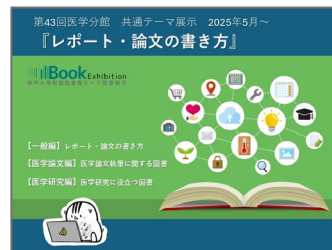
オンラインでの学修支援



●チャットツールによるレファレンスサービス
基本的質問から専門の調査まで、気軽に質問ができるようチャットツールによる迅速な対応を心掛けたレファレンスサービスを、2020年5月25日より実施。

テーマ図書展示

●各館室ごとの図書展示
9つある館室固有のテーマ展示や、時期によっては全館室共通のテーマで年4～5回展示を行っている。



情報リテラシー教育支援

初年次教育

全新入生が受講する「情報基礎」で大学図書館を活用するための基礎知識やアカデミックマナーを学ぶ回を担当するほか、「初年次セミナー」では担当教員の依頼に応じて図書館ツアーや文献検索ガイダンスを実施。

公式YouTubeチャンネルで教材を公開



パスファインダーKULiP

授業の参考資料を教員のコメント付きで紹介する「授業資料ガイド」、学部別および目的別の「資料/情報の探し方ガイド」、データベースの使い方等をまとめた「セルフラーニング」を公開している。

パスファインダーKULiPウェブサイト



ガイダンス

依頼者の要望に合わせて内容を組み立てる「オーダーメイドガイダンス」と、図書館が企画するデータベース講習会を行っており、対面とオンラインの両方に対応が可能。

オーダーメイドガイダンスは随時受付



図書館利用促進イベント

◆読書推進イベントー自分でつくるプチ図書館ー

シェア本棚

展示コーナーの本棚を1棚分ずつシェアし、図書館の蔵書を学生たちで自由に展示するイベント。

8組の学生によって、好きな本やおすすめしたい本を並べ、手作りPOPなどで本棚を飾り付けた。



◆リテラシー教育支援イベント

スカベンジャーハント

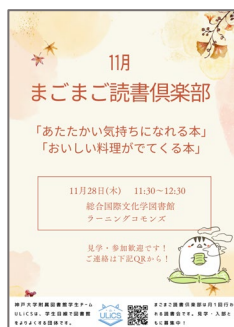
情報リテラシー教育となるレファレンス問題を中心に、神戸大学に関する問題や、パズル問題等を組み合わせて出題。解答期間終了後には、解説会を実施した。



◆神戸大学附属図書館学生チームULiCSによるイベント

まごまご読書倶楽部

まごまご読書倶楽部とは予め決めたテーマに即した本を持ち寄りそれらについて参加者たちでお話する、不定期開催、参加者資格なしというゆるめな「読書会」。2024年度は6回開催した。



◆自分が選んだ本が図書館に！学生選書イベント

学生選書ツアー

希望学生を募り図書館に置く学生用図書を書店に赴き現地で直接選ぶイベント。2024年度はジュンク堂三宮店において実施した。参加者17名、計208冊を選書、購入した。



資料展

神戸大学附属図書館では、平成16(2004)年度の「震災文庫展示会」開催以降、毎年テーマを変えた資料展を開催し、所蔵資料を公開することで広く資料と関連事項等を知ってもらうべく活動をしている。

平成19(2007)年9月には、社会科学系図書館2階に展示コーナーを開設、神戸の地の歴史を中心とした展示を続けている。

令和2(2020)年度及び令和3(2021)年度は、新型コロナウイルス感染症対策で学外者の入館を不可としたため館内での資料展開催は中止し、デジタル資料展として、附属図書館ホームページにて公開、令和4(2022)年度以降は、会場開催に戻した。

令和元(2019)年度は「阪神・淡路大震災25年 あのときとこれから」、また令和6(2024)年度は「阪神・淡路大震災30年 あの日の神戸」として、阪神・淡路大震災をテーマに、当時の被害状況や震災の経験と教訓を紹介する資料展を開催した。



これまでの展示

	資料展名	期間	テーマ
1	震災文庫展示会	2004年11月 8日(月) ～ 14日(日)	「資料でたどる 阪神・淡路大震災の記録と記憶」
2	平成17年度展示会	2005年11月 7日(月) ～ 13日(日)	「近代神戸の足跡 ～神戸大学附属図書館所蔵資料から～」
3	平成18年度展示会	2006年11月10日(金) ～ 17日(金)	「東アジアのなかの日本 ～古地図と文献に見る交流の風景～」
4	平成19年度第1回常設展	2007年 9月20日(木) ～ 12月21日(金)	「近代神戸の源流を訪ねて ～開港と居留地～」
5	平成19年度第2回常設展	2008年 2月15日(金) ～ 6月20日(金)	「近代神戸の源流を訪ねて ～鈴木商店とマッチ産業の盛衰～」
6	平成20年度第3回常設展	2008年 9月26日(金) ～ 12月19日(金)	「神戸から新天地へ ～ブラジル移民の100年～」
7	合同資料展	2009年10月 9日(金) ～ 2010年1月22日(金)	「資料が語る 阪神・淡路大震災の記憶と現在」
8	平成22年度資料展	2010年10月22日(金) ～ 12月21日(火)	「『住田文庫』にみる開国と文明開化」
9	平成23年度資料展	2011年10月21日(金) ～ 12月20日(火)	「神戸ことはじめ ～外国人のいた風景～」
10	平成24年度資料展	2012年10月19日(金) ～ 12月18日(火)	「開学のころ ～110 Years Ago～」
11	平成25年度パネル展	2014年 1月21日(火) ～ 2月10日(月)	「神戸近代点描」
12	平成26年度資料展	第1期 :2014年10月17日(金) ～ 11月16日(日) 第2期 :2014年12月24日(水) ～ 2015年1月29日(木)	「つたえる・つながる ～阪神・淡路大震災20年～」
13	平成27年度資料展	2015年10月 1日(木) ～ 12月15日(火)	「村上家文書の世界 ～近世×神戸×農村～」
14	平成28年度資料展	2016年10月14日(金) ～ 12月20日(火)	「モダン神戸の光と影 ～『新聞記事文庫データベース』より～」
15	平成29年度資料展	2017年10月13日(金) ～ 12月19日(火)	「近代神戸の航路をたどる ～開港150年を迎えて～」
16	平成30年度資料展	2018年10月12日(金) ～ 12月18日(火)	「古典籍さまざま ～近世の出版物より～」
17	令和元年度資料展	2019年10月11日(金) ～ 2020年2月4日(火)	「阪神・淡路大震災25年 あのときとこれから」
18	デジタル資料展	2020年10月公開	「古典籍さまざま ～近世の出版物より～」 (平成30年度資料展WEB公開)
19	デジタル資料展	2021年10月公開	「村上家文書の世界 ～近世×神戸×農村～」 (平成27年度資料展WEB公開)
20	令和4年度資料展	前期 :2022年10月14日(金) ～ 11月10日(木) 後期 :2022年11月16日(水) ～ 12月20日(火)	「古典籍でみる 鎖国下の漂流」
21	令和5年度資料展	2023年10月13日(金) ～ 12月20日(水)	「1933～社会科学系図書館誕生90周年～」
22	令和6年度資料展	2024年10月22日(火) ～ 2025年2月3日(月)	「阪神・淡路大震災30年 あの日の神戸 ～記憶の継承～」

資料展の案内、内容等は、神戸大学附属図書館ホームページの「資料展」に掲載。
(附属図書館TOP> 学修サポート > イベント情報 > 資料展のご案内)

附属図書館にあるアクティブ・ラーニングスペース

ディスカッションしながら学習やグループ・ワークが可能なスペースです。手近にある図書館資料や設備を使い、学習・研究をよりスムーズに行えるよう設置されました。

総合・国際文化学図書館ラーニングコモンズ (鶴甲第1キャンパスA棟2階・3階) [H27.11開設]

主な設備	可動式机・椅子、ホワイトボード、壁面ホワイトボード、AVブース、プリンター、大型スクリーン、無線LAN
------	---



SynergyMarketing 101 Studio(ラーニングコモンズ) (六甲台第1キャンパス社会科学系図書館1階) [H26.4開設]

主な設備	可動式机・椅子、ホワイトボード、プリンター、大型スクリーン、無線LAN
------	-------------------------------------



自然科学系図書館ラーニングコモンズ (六甲台第2キャンパス自然科学系図書館3階) [R5.4開設]

主な設備	可動式机・椅子、ホワイトボード、ディスプレイ、無線LAN
------	------------------------------



自然科学系図書館リサーチコモンズ (六甲台第2キャンパス自然科学系図書館4階) [R5.4開設]

主な設備	可動式机・椅子、壁面ホワイトボード、プロジェクター、ディスプレイ、大型スクリーン、無線LAN
------	--



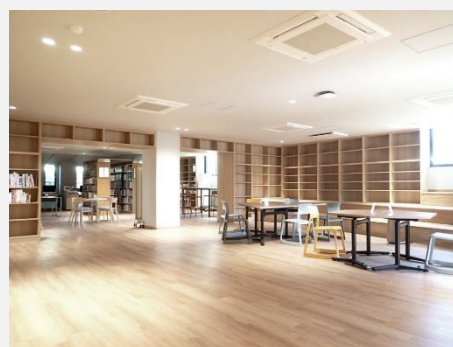
人文科学図書館ラーニングコモンズ (六甲台第2キャンパス人文学研究科A棟1階) [H25.4開設]

主な設備	可動式机・椅子、ホワイトボード、無線LAN
------	-----------------------



保健科学図書室ラーニングコモンズ (名谷キャンパス保健科学図書室1階) [R3.4開設]

主な設備	机・椅子、ホワイトボード、無線LAN
------	--------------------



各図書館室/関連施設概要

◆総合図書館・国際文化学図書館

General Library / Library for Intercultural Studies

平成16(2004)年の国立大学法人化を機に「国際・教養系図書室」の全学共通教育対応機能を分離し、学習図書館機能を担う「総合図書館」を設置。国際人間科学部グローバル文化学科及び国際文化学研究科の教育・研究のための機能は「国際文化学図書館」として担うこととし、これを専門図書館と位置づけた。

総合図書館は、平成12(2000)年の附属図書館審議会答申「神戸大学附属図書館将来構想」にあるとおり、学習支援機能の強化と全学図書館の調整機能を担う館として構想されたものであるが、当面は国際文化学図書館と同一施設で運用することとしている。

本図書館は、全館室の中で最もサービス対象学生数が多い。全学共通教育支援の役割を担っていることからほぼ全分野にわたる資料を収集しており、蔵書構成は、特に一般教養図書が豊富である。

平成16(2004)年10月からは学外利用者への貸出サービスを開始、地域連携にも努めている。

平成20(2008)年、耐震補強並びに改修工事竣工により、集密書架と専用エレベーターを新設。平成23(2011)年、入館ゲート設置。

平成27(2015)年11月にはラーニングcommonsを開設した。



◆社会科学系図書館

Library for Social Sciences

社会科学系図書館は、法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、国際協力研究科の社会系4部局を主なサービス対象とする専門図書館である。明治36(1903)年に開館した神戸高等商業学校図書館を前身とし、学内で最も長い歴史と規模を誇る。戦前からの蔵書を引き継ぎ、社会科学関係資料において高い評価を受けている。

昭和8(1933)年、神戸商業大学の六甲台移転に伴って新営された現本館(国の登録有形文化財に登録)の大閲覧室は、ステンドグラスと高い天井をもち、昭和初期の建築様式を今に伝えている。この本館をもとに、書庫棟(1960年、1971年及び1981年)・管理棟(1981年)と増築を重ね、平成16(2004)年には社会科学系総合研究棟<フロンティア館>を新営した。それに伴い、開架図書室の拡充、書庫の増設、新着雑誌室・震災文庫室・貴重図書室・マイクロ資料室・プレゼンテーションホールの整備を行った。平成24(2012)年には入館ゲートを設置した。

平成22(2010)年度に本館2階大壁画を修復し、平成25(2013)年度には文化庁の「歴史的建物整備事業」により本館を改修、平成26(2014)年4月に新装開館した。あわせて管理棟の耐震改修工事も実施するとともに、ラーニングcommonsを新設し、学修支援空間としての機能向上を図った。また、人文・社会科学系外国雑誌センター及び「震災文庫(阪神・淡路大震災関係資料文庫)」も本図書館に置かれている。

本図書館は、附属図書館全体の管理運営機能(中央図書館機能)も果たしている。



◆自然科学系図書館

Library for Science and Technology

自然科学系図書館は、理学研究科・工学研究科・システム情報学研究科・農学研究科・科学技術イノベーション研究科を主なサービス対象とする専門図書館である。昭和59(1984)年に当時の理・工・農各学部図書館を統合して新営され、情報基盤センターと隣接し、図書館情報システムの中核としてオンライン情報検索やデータベース等を先進的に導入するなど、図書館サービスの情報化に大きな役割を果たしてきた。

平成19(2007)年、閲覧机・座席数を拡充。平成22(2010)年、25(2013)年、書架の増設を実施。平成23(2011)年、入館ゲートを設置した。

改修・増築工事を経て、令和5(2023)年4月に開館再開、共同利用書庫、ラーニングcommons及びリサーチcommonsを新設、多様なスタイルの学習/研究・共創活動を支援している。



◆人文科学図書館

Library for Humanities

人文科学図書館は、人文学研究科を主なサービス対象とする専門図書館である。蔵書は、人文科学系の資料が中心で特に和漢洋の古典、基本的図書の整備・拡充に努めている。

平成6(1994)年に電動式集密書架設置。平成19(2007)年の改修工事で地下書庫にハンドル式集密書架を、平成24(2012)年の改修工事で入館ゲートをそれぞれ設置。

平成25(2013)年4月には神戸大学初のラーニングcommonsを開設した。また、平成26(2014)年、日本文化資料コーナーを設置した。



◆人間科学図書館

Library for Human Development Sciences

人間発達環境学研究科を主なサービス対象とする。元は「教育学部分館」であったが、平成4(1992)年に教育学部が発達科学部に改組されたことに伴い、「人間科学系図書室」と改称。平成16(2004)年4月より現在の「人間科学図書館」とした。

「人の発達」「人の発達を支える環境」とは何かを探究する教育研究活動を支えるべく、旧教育学部分館からの蔵書をさらに発展させ、発達科学のみならず、人文・社会・自然・芸術・体育など広範囲に及ぶ資料を収集している。

平成8(1996)年、閲覧室拡張等の改修を実施。

平成15(2003)年、書庫の一部に電動集密書架を設置。

平成20(2008)年には新たにグループ学習室を設置。

平成23(2011)年、入館ゲートを設置。



◆経済経営研究所図書館

Library of Research Institute for Economics and Business Administration

経済経営研究所図書館は、附属図書館組織に属さない専門図書室として運営されてきたが、国立大学法人化を機に附属図書館の1館と位置づけられた。

経済学・経営学関係の図書・雑誌を幅広く収集しているほか、国内外の企業関係資料や中南米関係資料などのコレクションを有している。また、経済協力開発機構(OECD)、国際労働機関(ILO)、世界貿易機関(WTO)、国際海事機関(IMO)、国際通貨基金(IMF)、世界銀行、さらに各国政府機関などに関連する資料や国際経済統計資料も取りそろえている。



◆医学分館

Library for Medical Sciences

楠キャンパスに位置し、医学研究科及び附属病院を主なサービス対象とする。蔵書内容は医学分野の基本図書や学術雑誌(電子ジャーナル)を主体とし、教育・研究の支援を行っている。

昭和37(1962)年、China Medical Board of New York, Inc.から寄付を得て竣工した兵庫県立神戸医科大学附属図書館の運営方針を継承し、昭和40(1965)年4月、神戸大学への移管に伴い「医学部分館」として発足、平成16(2004)年4月「医学分館」と改称した。現施設は、平成8(1996)年に新営された医学研究科管理棟の地階～2階に位置する。

平成9(1997)年、特別利用(24時間開館)を開始。

平成12(2000)年、IDカードによる入館システムの運用を開始。

平成26(2014)年3月、老朽化した集密書架の一部を更新。



◆保健科学図書室

Library for Health Sciences

名谷キャンパスに位置し、保健学研究科を主なサービス対象とする。看護学・検査技術科学・理学療法学・作業療法学を中心とした図書を収集、配架している。

昭和56(1981)年に医療技術短期大学部図書館として発足し、昭和59(1984)年3月に図書館棟が竣工した。医学部保健学科発足後の平成9(1997)年に附属図書館組織に編入され「名谷分室」となり、平成16(2004)年4月より「保健科学図書室」と改称した。

平成24(2012)年3月、入館ゲート設置。令和2(2020)年度に改修工事をおこない、令和3(2021)年4月に新装開館、1階にラーニングコモンズを開設した。



◆海事科学分館

Library for Maritime Sciences

深江キャンパスに位置し、海事科学研究科を主なサービス対象とする。

昭和27(1952)年に設置された神戸商船大学附属図書館を前身とし、平成15(2003)年10月、神戸大学と神戸商船大学の統合によって「海事科学部分館」となり、平成16(2004)年4月より「海事科学分館」と改称した。全国でも数少ない、海事関係の図書・学術雑誌を中心に所蔵する図書館として、広く利用されている。

平成17(2005)年4月から学外利用者への貸出サービスを開始し、地域連携にも努めている。

平成23(2011)年3月、入館ゲートを設置。

学生自習室についてネーミングライツ協定締結、令和5(2023)年1月より呼称を「JRC Biblio」とした。



●外国雑誌センター館

National Center for Overseas Periodicals (Humanities and Social Sciences areas)

外国雑誌センター館は外国の学術雑誌、とりわけ国内に所蔵の少ない雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供することを目的として文部省(当時)により設置され、人文・社会科学系、医学・生物学系、理工学系、農学系の4つの分野について、全国で9つの国立大学附属図書館が指定を受けている。

神戸大学社会科学系図書館は、昭和60(1985)年度の一橋大学附属図書館に続いて昭和61(1986)年度に人文・社会科学系の外国雑誌センター館として指定され、2大学でこの分野の収集につとめ、ILL(図書館間相互利用)システムを通じて全国に文献複写の提供サービスを実施している。

令和6年度は冊子で14タイトルを受け入れ、電子ジャーナル1,401タイトルへのアクセスを提供している。

●震災文庫 (阪神・淡路大震災関係資料文庫)

Great Hanshin-Awaji Earthquake Disaster Materials Collection

神戸大学附属図書館は、平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の被災地にある大学図書館の責務として、震災に関する資料を媒体・形態を問わず網羅的に収集し、同年10月30日から、社会科学系図書館に設けられた「震災文庫」において一般公開を開始した。

一般的な図書・雑誌のみならず、チラシ・ポスター・レジュメ・パンフレット・広報紙・写真・ビデオなど、収集・保存・提供活動を行っている。震災発生から30年経った現在でも所蔵資料数は日々増え続け、令和7(2025)年3月末現在の収集資料数は57,727件に達した。また、収集資料をデジタル化してインターネット上に公開する「震災文庫デジタルアーカイブ」事業も積極的に進めており、令和7(2025)年3月末現在の公開件数は13,127件である。

収集資料点数

(令和7(2025)年3月末)

図書資料	9,327
雑誌資料	16,978
新聞・広報誌類	8,124
パンフレット類	4,105
一枚ものの資料	3,500
写真資料	8,044
地図資料	162
動画資料	1,042
音声資料	266
その他	6,179
	57,727



❖大学文書史料室（関連施設）

Kobe University Archives

神戸大学大学文書史料室は、平成22(2010)年4月1日に設置された神戸大学唯一のアーカイブズである。その目的は、神戸大学の法人文書のうち歴史公文書等として移管されたもの、法人その他の団体又は個人から寄贈・寄託されたもの、その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することにある。平成23(2011)年3月30日公布の内閣府告示第13号で、内閣総理大臣から「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）の政令指定を受けた。

当室では、神戸大学創立以来の百二十年余にわたり大切に引き継がれた前身校及び新制神戸大学の歴史に係る貴重な資料を所蔵し、また毎年新たに保存期間が満了した神戸大学歴史公文書等を全学から定期的に受入れ、順次目録を公開し、一般利用に供している（令和7(2025)年3月末現在の目録総件数は69,435件）。

また、「神戸大学史」に関する常設展、特別展（年1回）及び巡回展（年3回程度）等の展示活動や、デジタル化した所蔵資料等のインターネット公開、本学の歴史に関する学内外からの照会、見学希望などにも積極的に対応している。



展示活動（令和6年度）

展示の名称	期 間	場 所
常設展「神戸大学史展—創立1902(明治35)年から現代まで—」	常時(特別展開催時は除く)	百年記念館1階展示ホール
特別展「1995.1.17—神戸大学震災犠牲者の追憶—」	令和6年10月24日～令和7年1月31日	百年記念館1階展示ホール
巡回展(東京)「神戸大学史展」(パネル展)	令和6年12月10日～令和7年1月17日	神戸大学東京六甲クラブ
巡回展(神戸)「1995.1.17—神戸大学震災犠牲者の追憶—」	令和6年12月16日～令和7年2月5日	神戸大学海事博物館
	令和7年2月14日～3月23日	社会科学系図書館展示ホール

歴代館長

氏名	在任期間
宮下孝吉	1949. 5.31 ～ 1953. 3.31
新庄博	1953. 4. 1 ～ 1959. 5.31
山下勝治	1959. 6. 1 ～ 1962. 5.31
柚木馨	1962. 6. 1 ～ 1963.12.15
今井林太郎	1963.12.16 ～ 1966.12.15
八木弘	1966.12.16 ～ 1969. 1. 9
戸田義郎	1969. 1.10 ～ 1972.10.15
嘉納孔	1972.10.16 ～ 1975.10.15
矢尾次郎	1975.10.16 ～ 1978.10.15
松本隆一	1978.10.16 ～ 1981. 2.15
堯天義久	1981. 2.16 ～ 1981. 2.28
森昭夫	1981. 3. 1 ～ 1984. 2.29
大野喜久之輔	1984. 3. 1 ～ 1987. 2.28
細川藤次	1987. 3. 1 ～ 1990. 2.28
鈴木正裕	1990. 3. 1 ～ 1991. 2.28
安川克己	1991. 3. 1 ～ 1994. 2.28
鈴木正裕	1994. 3. 1 ～ 1994. 3.31

氏名	在任期間
下井隆史	1994. 4. 1 ～ 1996. 3.31
藤井聰	1996. 4. 1 ～ 1997. 3.31
小林哲夫	1997. 4. 1 ～ 1999. 3.31
利根川孝	1999. 4. 1 ～ 2001. 3.31
中村道	2001. 4. 1 ～ 2003. 3.31
佐々木武	2003. 4. 1 ～ 2005. 3.31
須藤健一	2005. 4. 1 ～ 2007. 3.31
武田廣	2007. 4. 1 ～ 2009. 3.31
瀧澤栄治	2009. 4. 1 ～ 2011. 3.31
樋口保成	2011. 4. 1 ～ 2013. 3.31
釜谷武志	2013. 4. 1 ～ 2015. 3.31
野海正俊	2015. 4. 1 ～ 2017. 3.31
萩原泰治	2017. 4. 1 ～ 2019. 3.31
富山明男	2019. 4. 1 ～ 2021. 3.31
櫻井徹	2021. 4. 1 ～ 2023. 3.31
土佐幸雄	2023. 4. 1 ～ 2025. 3.31
近藤徳彦	2025. 4. 1 ～ (現職)

図書館の現況統計

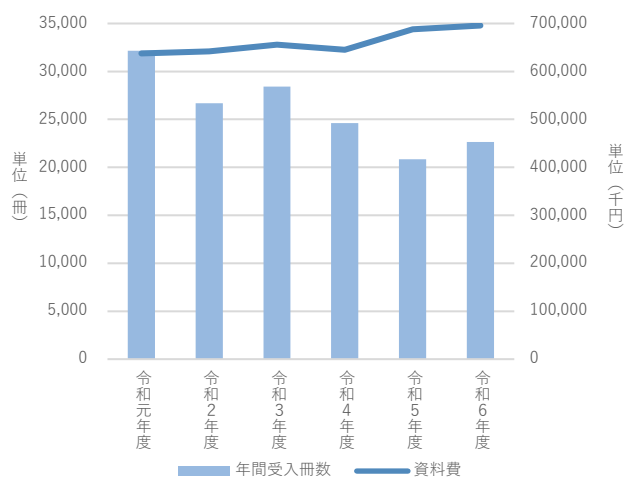
		総合・国際 文化学 図書館	社会科学系 図書館	自然科学系 図書館	人文科学図 書館	人間科学 図書館	経済経営 研究所 図書館	医学分館	保健科学 図書室	海事科学 分館	合計
蔵書冊数(R6末)	和漢書	356,872	691,233	219,270	217,185	261,808	121,194	75,517	51,208	184,305	2,178,592
	洋書	141,936	734,245	215,729	118,418	73,904	147,801	82,654	7,359	52,597	1,574,643
	合計	498,808	1,425,478	434,999	335,603	335,712	268,995	158,171	58,567	236,902	3,753,235
雑誌タイトル 所蔵数(R6末)	和雑誌	1,412	6,824	1,791	2,664	2,371	3,101	1,569	760	1,486	21,978
	洋雑誌	828	11,622	2,910	947	1,073	3,729	1,458	197	878	23,642
	合計	2,240	18,446	4,701	3,611	3,444	6,830	3,027	957	2,364	45,620
入館者数(R6)		132,631	111,896	144,282	48,506	27,918	851	39,330	31,057	22,640	559,111
貸出冊数(R6)	教職員	10,358	8,353	4,259	3,384	2,940	330	3,911	1,052	2,656	37,243
	学生	66,424	58,609	48,939	27,853	28,002	2,120	8,724	14,371	20,689	275,731
	学外者	1,297	705	336	136	173	23	179	74	465	3,388
	合計	78,079	67,667	53,534	31,373	31,115	2,473	12,814	15,497	23,810	316,362
図書館施設 (※面積は㎡)	面積	3,558	10,308	4,101	1,288	1,474	1,097	1,715	837	2,170	26,548
	座席数	389	416	452	138	153	29	225	106	169	2,077

(「令和6年度 神戸大学附属図書館年次報告」による)

諸統計の年次推移

	蔵書冊数 : 上段 年間受入冊数 : 下段			所蔵雑誌種数 受入雑誌種数	貸出冊数 学生	入館者数	ILL 複写件数 貸借件数		資料費 (千円)
	和書	洋書	合計				依頼	受付	
令和元年度	2,201,262	1,588,010	3,789,272	47,013	209,180	812,400	4,813	7,088	637,583
	25,811	6,348	32,159	3,983			1,070	2,700	
令和2年度	2,195,112	1,582,977	3,778,089	46,929	92,169	76,659	4,047	5,499	641,724
	21,353	5,343	26,696	3,828			945	2,163	
令和3年度	2,198,432	1,584,195	3,782,627	47,262	191,040	193,979	4,665	6,671	655,943
	22,459	5,951	28,410	3,633			1,209	2,597	
令和4年度	2,195,753	1,583,873	3,779,626	47,083	217,652	370,273	4,115	5,555	645,091
	19,141	5,481	24,622	3,654			921	2,158	
令和5年度	2,189,476	1,579,242	3,768,718	46,913	231,684	520,038	3,149	4,990	687,860
	17,037	3,792	20,829	3,159			825	1,768	
令和6年度	2,178,592	1,574,643	3,753,235	45,620	275,731	559,111	2,657	4,073	695,763
	18,209	4,452	22,661	2,871			870	1,763	

年間受入冊数と資料費



入館者数と(学生)貸出冊数

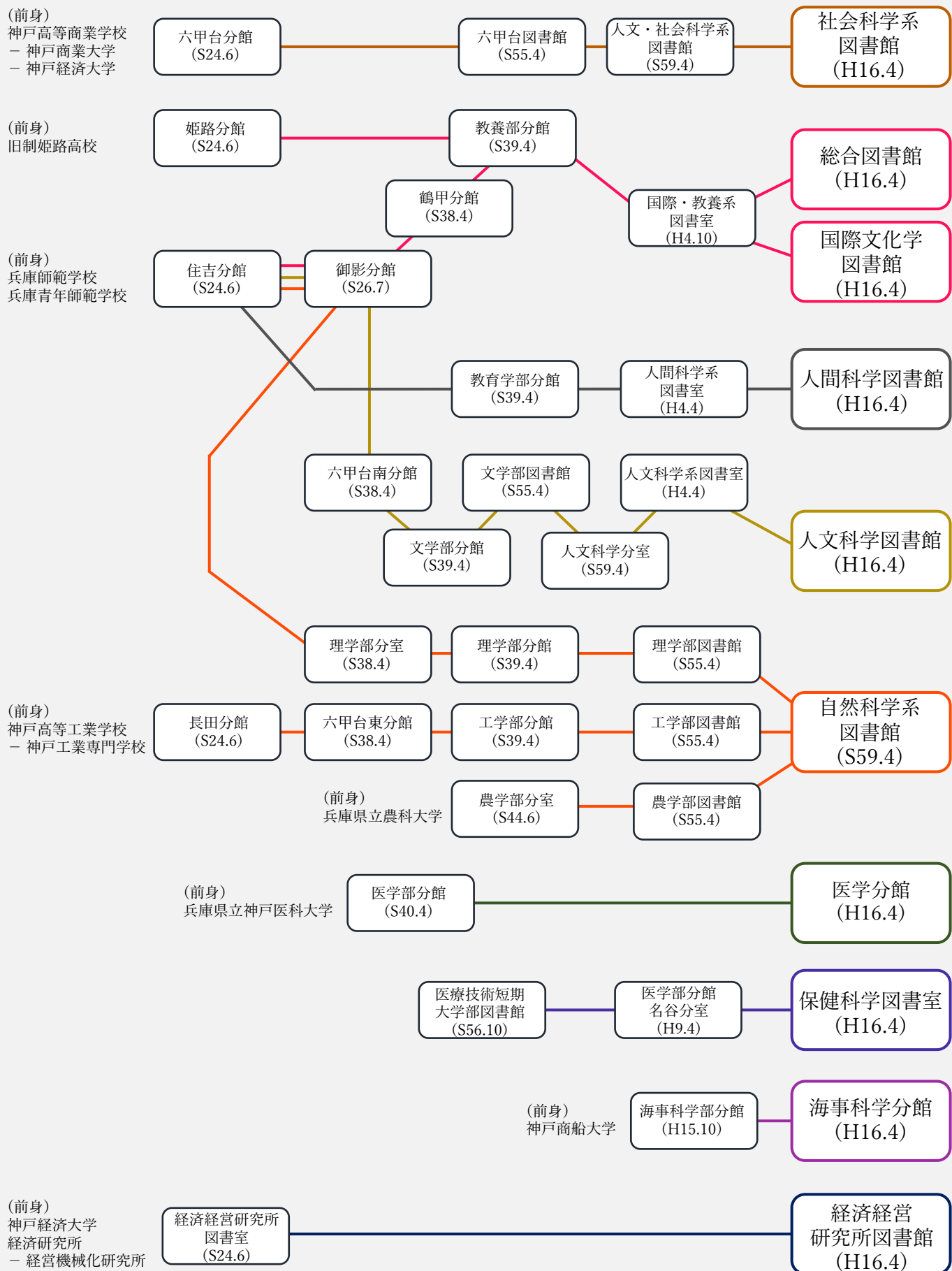


附属図書館の歩み

明治	35年	(1902)	神戸高等商業学校開校
	36年	(1903)	神戸高等商業学校図書館開館(36年に図書課設置、40年に夜間開館開始)
大正	10年	(1921)	神戸高等工業学校開校(図書課を設置)
昭和	8年	(1933)	現在の社会科学系図書館本館が竣工
	10年	(1935)	社会科学系図書館本館2階書庫入口に壁画「青春」(中山正實氏)が描かれる
	18年	(1943)	第1回三商大(神戸・東京・大阪)図書館協議会を開催
	24年	(1949)	新制神戸大学設立、附属図書館設置 設置当初は、六甲台分館・住吉分館・長田分館・姫路分館の4分館、学舎の六甲地区集中を経て、昭和39年度には、六甲台分館・文学部・教育学部・理学部・工学部・教養部の6分館及び中央図書館に編成
	40年	(1965)	県立神戸医科大学の国立移管に伴い、附属図書館医学部分館(現、医学分館)設置
	44年	(1969)	県立兵庫農科大学の国立移管に伴い、附属図書館農学部分室設置
	54年	(1979)	附属図書館審議会「神戸大学附属図書館構想と実現の経過措置」を承認
	56年	(1981)	現在の社会科学系図書館管理棟が竣工
	58年	(1983)	情報処理センター(現、情報基盤センター)のコンピュータにより業務電算化に着手 ・外国雑誌管理システム(1983)・和雑誌管理システム(1984)・貸出管理システム(1986) ・学術情報センター(現、国立情報学研究所)とネットワーク接続(1987)
	59年	(1984)	自然科学系図書館竣工(理・工・農各館を統合)、人文・社会科学系図書館設置(六甲台・文を統合)
	61年	(1986)	文部省(当時)より、人文・社会科学系外国雑誌センターに指定される
	元年	(1989)	図書館業務専用電算機を導入 目録業務を電算化し、オンライン目録(OPAC)の提供開始 図書受入・雑誌所蔵等全業務の電算化を実現
平成	4年	(1992)	ILL(図書館間文献複写)システムの運用開始、目録遡及入力事業を開始
	7年	(1995)	阪神・淡路大震災 / 「震災文庫」の開設 / 図書館ホームページの正式運用開始
	8年	(1996)	医学部分館新営及び人間科学系図書室(現、人間科学図書館)改築が実現 / 「阪神・淡路大震災関係文献・資料の収集、保存、提供活動」について国立大学図書館協会賞を受賞
	9年	(1997)	附属図書館研究開発室を設置 / 図書館業務システムを更新、Web版OPACのサービス開始 医療技術短期大学の編入に伴い、医学部分館名谷分室(現、保健科学図書室)を設置
	11年	(1999)	神戸大学電子図書館システムの運用開始 / 電子情報掛(現、電子情報グループ電子図書館担当)を設置
	13年	(2001)	図書館業務システムを更新、「パーソナルサービス(現、アカウントサービス)」運用開始 / 情報リテラシー掛を設置
	14年	(2002)	国立大学図書館協議会コンソーシアムに加盟、電子ジャーナルの本格サービスを開始
	15年	(2003)	神戸商船大学統合に伴い、海事科学部分館(現、海事科学分館)を設置 / 電子図書館システムの更新
	16年	(2004)	国立大学法人化を機に図書館規則を改訂、図書館組織を改編、「総合図書館」設置、経済経営研究所図書館の編入など 10館室体制、事務組織を1部2課19係に / 附属図書館の中期目標・中期計画、年次計画を策定、評価委員会設置 / 附属図書館年次報告(平成15年度)を作成・公開、以後毎年継続 / 社会科学系図書館フロンティア館増築竣工 / 図書館資料展示会の開始
	17年	(2005)	図書館業務システムの更新 / 神戸大学機関リポジトリ構築に向けた基礎調査を実施
	18年	(2006)	神戸大学学術成果リポジトリ(Kernel)が本格実施
	19年	(2007)	総合・国際文化学図書館、人文科学図書館及び人間科学図書館で大規模改修実施設置 / 部局拠出を含む全学経費により電子ジャーナルやDB等の教育研究基盤資料の整備を継続実施
	20年	(2008)	電子図書館システムを更新 / リンクリゾルバを導入 / 附属図書館審議会が「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」を学長に答申
	21年	(2009)	附属図書館の第2期中期目標・中期計画、年次計画を策定 / 大閲覧室の閲覧机補修実施 / 卒業生等に貸出サービス開始
	22年	(2010)	大学文書史料室設置 / デジタルアーカイブ事業が「Library of the Year 2010」優秀賞を受賞 図書館システム・財務会計システム間の連携を実現 / 学生選書ツアー開始
	23年	(2011)	図書館業務システム・電子図書館システム更新 / 入退館システム導入(総合・国際、自然、海事、人間) 大学文書史料室が国立公文書館等に類する施設に指定 / 大壁画の修復 / 中山正實画伯作油彩画4点修復
	24年	(2012)	入退館システム導入(社会、保健) / 国立大学図書館協会総会開催 / 図書館公式ツイッター開始 人文科学図書館で大規模改修実施
	25年	(2013)	人文科学図書館にラーニングコモンズ設置 / 社会科学系図書館で大規模改修実施 共通教育授業向けパスファインダー提供開始 / グローバル人材育成支援図書コーナー、英語多読コーナーの設置
	26年	(2014)	社会科学系図書館にラーニングコモンズ設置 / シリーズイベント「未来の図書館：図書館の新たなミッション」開催 「うりこ」を附属図書館マスコットキャラクターに制定
	27年	(2015)	附属図書館の第3期中期目標・中期計画、年次計画を策定 / EUJ国際シンポジウムを開催 / 総合・国際文化学図書館を含む鶴甲第一キャンパスにラーニングコモンズ設置 / 附属図書館学生チームULiCS(うりくす)発足
	28年	(2016)	図書館業務システム・電子図書館システム更新 / マスコットキャラクター「うりこ」のLINEスタンプ発売
	29年	(2017)	「神戸大学オープンアクセス方針」を制定 / 「神戸大学附属図書館今後10年の運営方針について」を発表
	30年	(2018)	大学文書史料室、学長の下に置く室へ体制変更 / 国立大学図書館協会シンポジウムを開催
令和	2年	(2020)	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策実施 / 保健科学図書室で大規模改修実施 / チャットレファレンス開始
	3年	(2021)	引き続き新型コロナ対策を実施 / 保健科学図書室にラーニングコモンズ設置
	4年	(2022)	図書館業務システム・電子図書館システム更新 / 自然科学系図書館で大規模改修・増築実施
	5年	(2023)	自然科学系図書館にラーニングコモンズ設置 / 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策終了
	6年	(2024)	「チャットによるオンラインレファレンスの取り組み」について国立大学図書館協会賞を受賞

※ 年表示は暦年による

各図書館室沿革



ACCESS / CONTACT

◆六甲台キャンパス

① 総合図書館・
国際文化学図書館

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

TEL/(078)803-7351

FAX/(078)803-7355

② 社会科学系図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

事務室/(078)803-7315
サービス・カウンター/(078)803-7339

FAX/(078)803-7343

震災文庫

サービス・カウンター/(078)803-7342

③ 自然科学系図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL/(078)803-5308

FAX/(078)803-5310

④ 人文科学図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL/(078)803-5585

FAX/(078)803-5588

⑤ 人間科学図書館

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

TEL/(078)803-7951

FAX/(078)803-7955

⑥ 経済経営研究所図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

TEL/(078)803-7025

FAX/(078)803-7274

★ 大学文書史料室

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL/(078)803-5035

FAX/(078)803-5038

◆楠キャンパス

⑦ 医学分館

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1

TEL/(078)382-5310

FAX/(078)382-5319

◆名谷キャンパス

⑧ 保健科学図書室

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2

TEL/(078)796-4505

FAX/(078)796-4588

◆深江キャンパス

⑨ 海事科学分館

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1

TEL/(078)431-6239

FAX/(078)431-6360

六甲台地区



楠地区



名谷地区



深江地区





神戸大学附属図書館要覧

令和 7 年 7 月 発行

編集・発行 神戸大学附属図書館
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
電 話 078-803-7315(企画係)